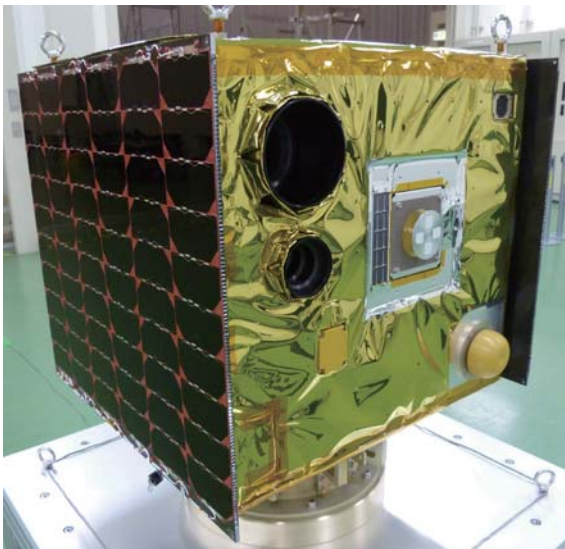




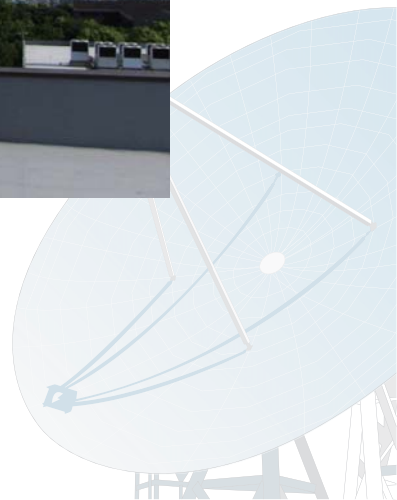
電波観測通信施設 3m (左) と12m (右) パラボラアンテナ

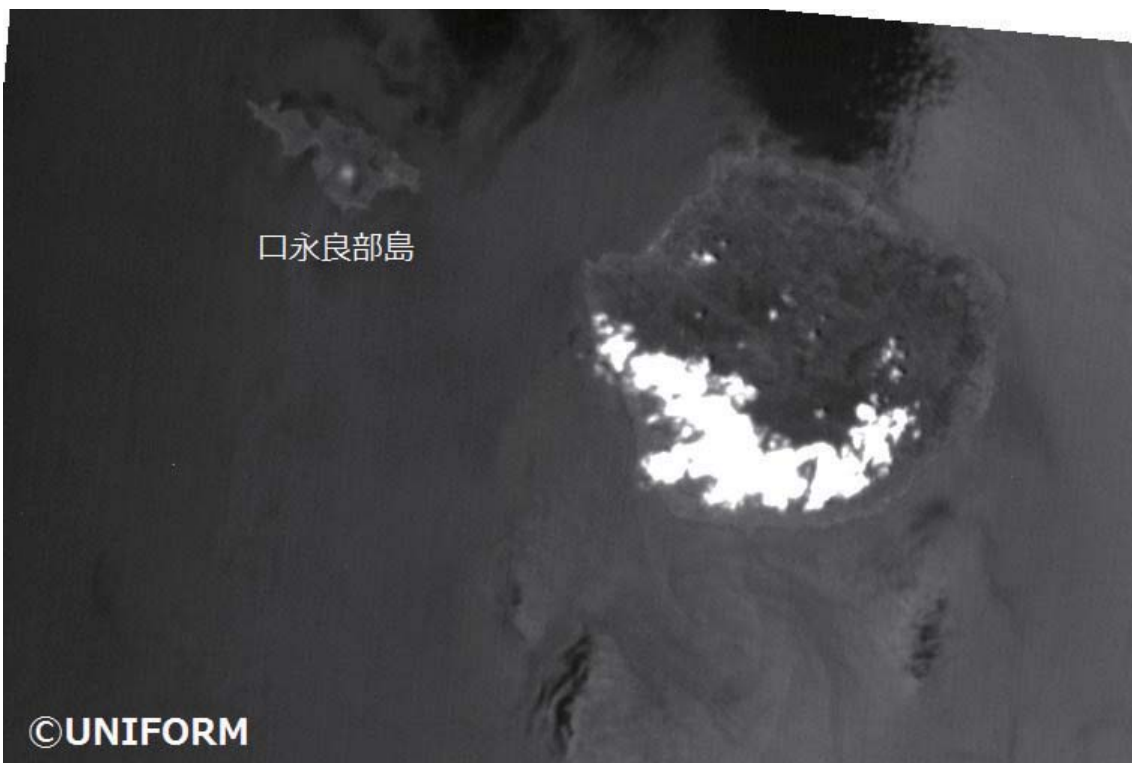
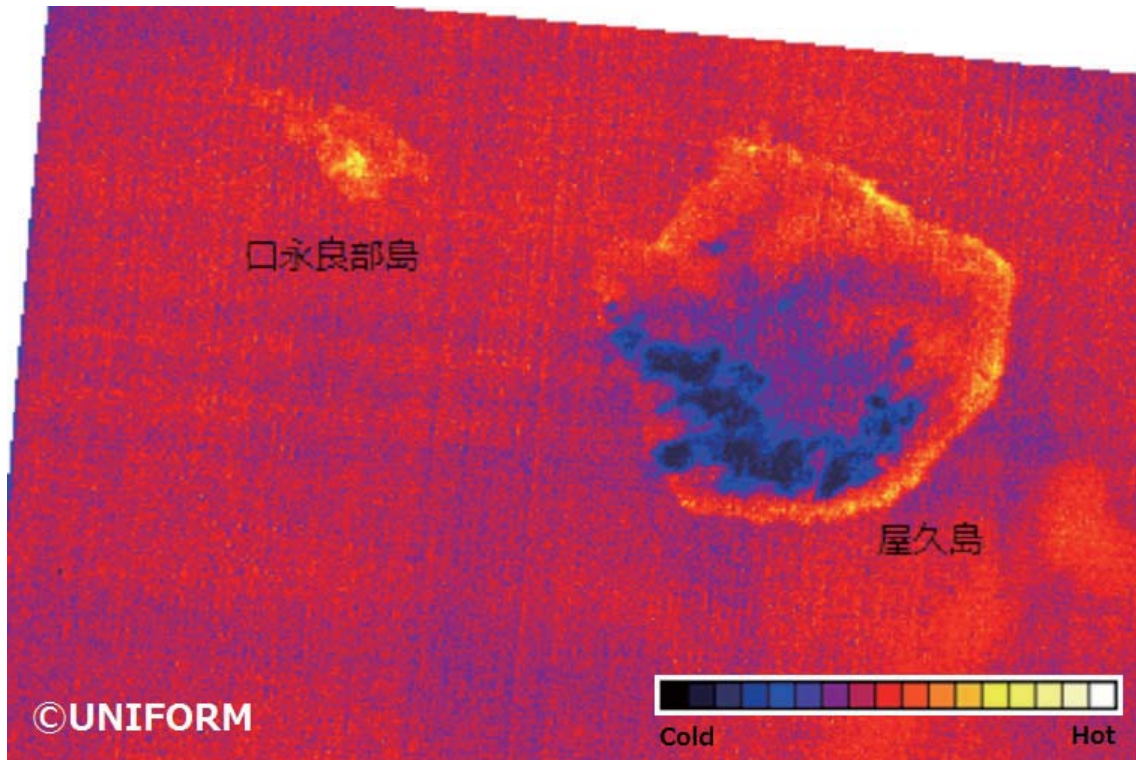


左：超小型衛星 UNIFORM 1号機

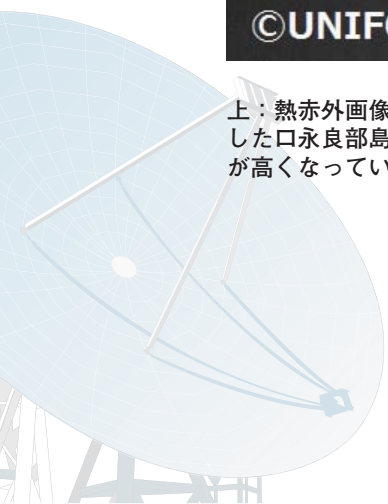


右：新3mパラボラアンテナ (教育学部棟屋上)

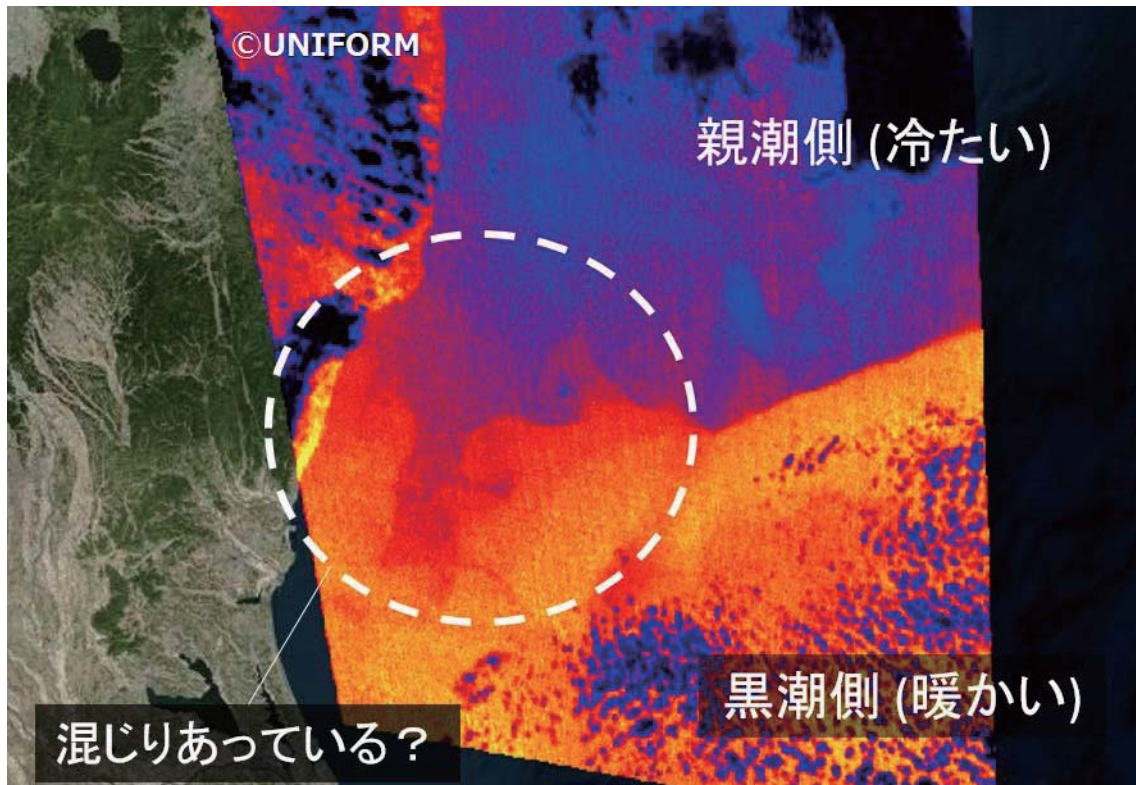




上：熱赤外画像 下：可視光画像（いずれも2015.05.26 AM11時26分頃(JST)撮影）2015年5月29日に噴火した口永良部島を、噴火3日前にUNIFORM1号機から捉えた画像です。2014年の噴火以来、火口付近の温度が高くなっていることが検知されていたため定常観測の対象として動向監視を行っていました。



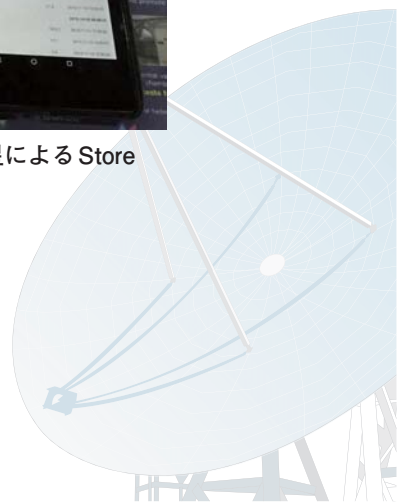




UNIFORM 1号機の熱赤外カメラは、海水の温度の違いも捉えることができます。写真は、茨城県～福島県沖の太平洋を撮影したものです。(2015.01.25撮影) 今後、このような観測データが、水産漁業に活用されることも期待されます。



内閣府宇宙戦略室によるタイ国科学技術博覧会への出展において、地上センサと超小型衛星による Store and Forwardの研究が紹介されました。(2015.11.14～16)





はやぶさ2地球スイングバイ時の電波受信モニターの波形を見守る参加者のみなさん (2015.12.3)



ロケットガール&ボーイ養成講座2015 (2016.01.21 ハイブリッドロケットの設計)

